

令和3年度 第2回市川市食育推進関係機関連絡会（書面会議）議事録

委員名	意見・質問	回答
1. 第3次市川市食育推進計画中間評価概要（資料2）、令和4年度食育の取組について（案）（資料3）に関するご質問・ご意見		
市川市 消費者モニター 一友の会 相原代表	<p>やはり、コロナで生活が変化したように感じます。達成されなかった5項目は食事に今までと同様に気を配れていない状況を感じます。</p> <p>「食育」はツールだという事を、「いつまでも健やかに動ける身体を保つためのツール」だと思っ てほしいと考えます。その上で給食のある年齢が 一番ツール獲得に重要な期間だと思います。食 べる楽しさから、組み合わせ、旬の食べ物等、系 統立てて身に着けられる情報発信があると良い と思います。</p>	<p>【保健体育課】 「食べる楽しさや大切さについて」各校 給食を教材にして伝えたり、給食日より や掲示物等で伝えています。</p> <p>【こども施設運営課】 食育に関するお便りや掲示物で保護者 への情報発信をしております。また菜園 活動や食べ物の話、給食展示と共に食材 の紹介をする等各園で取り組みをして います。</p>
	<p>令和4年度の取組対象「若い世代・働く世代」 にはメニューの提示が良いと思います。ワンプレ ートでいいので、主食・主菜・副菜の組み合わせ、 組み換え例を簡単に使えるような情報発信が力 になると思います。食育が大切だと思っている市 民の方は多いと思いますが、この年代は難しいと か、分からないとか、忙しいなどで取組にくい年 代だと思いますので。</p>	<p>【健康支援課】 令和4年度の取組「バランスのとれた食 事」の啓発では、主食・主菜・副菜をそ ろえた食事のとり方について、ワンプレ ートでとれる等組み合わせ例を紹介し、 簡単にできる工夫の仕方をご提示でき るよう考えていきたいと思っています。また 市川市公式 Web では「おいしいレシピ」 「適塩レシピ」の発信を継続する他、若 い世代に興味をもって見ていただける ように市公式 You-tube チャンネル、ツ イッターでも、周知を考えてまいります。</p>
	<p>旬の野菜や地場産物についても「今はこれ。こう 食べる！」という発信があると嬉しいです。</p>	<p>【地域整備課】 市川で捕れる魚介類の情報をホームペ ージ等に掲載していきます。</p> <p>【農業振興課】 いちかわ農産物直売所マップの「市川市 の主な農産物収穫ごよみ」で旬の野菜等 について情報提供しています。今後は市 公式 Web 等、新たな情報媒体での発信 を検討していきます。</p>
	<p>すべて決まった媒体で定期的な発信があるとチ ェックする事が可能になります。</p>	<p>【健康支援課】 毎月19日（食育の日）に市公式 Web で 適塩レシピを掲載していますが、さらに 市公式ツイッター等で定期的な発信を 増やしていきたいと考えています。</p>

<p>千葉県伝統郷土料理研究会 菅谷代表</p>	<p>令和4年度食育の取組について（案） 千葉県伝統郷土料理研究会として直接のかかわりは少ないかもしれませんが、取組内容 ④保育園・学校給食で人気のバランスメニューを紹介 ⑤旬の野菜・魚の上手な選び方、保存方法、魚の簡単な下処理方法 ⑥いちかわで作られている農作物や魚介類の紹介 ⑦旬の野菜をおいしく食べるレシピ紹介 などで郷土料理や地場産物の関わりができればいいと思います。</p>	<p>【保健体育課】 ④の中で可能な範囲で係ることができると考えます。 【地域整備課】 ⑤、⑥については、市川市漁業協同組合に確認して市公式 Web 等に掲載していきます。 【農業振興課】 ⑤については JA いちかわと協議し情報発信を検討していきます。 また野菜の保存方法などは伝統料理で行われる保存方法(例：塩蔵技術など)の情報を提供いただければ、野菜の旬や選び方と合わせて、市民に情報発信したいと考えます。 ⑥については、いちかわ農産物直売所マップの「市川市の主な農産物収穫ごよみ」で旬の野菜等について情報提供しています。 【こども施設運営課】 メニューやレシピの紹介、郷土料理の紹介などは保護者が興味を示す内容かと思しますので情報提供をいただきたいです。またコロナの状況が落ち着いたら給食調理員向けの太巻き寿司のレシピ紹介や実習等ご協力いただきたいと思ひます。 【健康支援課】 令和4年度の取組案の中で、郷土料理や地場産物についての情報をリーフレットの配布やパネル展示等で周知してまいります。是非ご協力をお願いします。</p>
<p>生産者代表 染谷代表</p>	<p>食育バランスシートがレストランに置いてあった時代を思い出しました。今、中食も増えているので、惣菜、弁当を選ぶ際の情報があつたらいいと思ひました。</p>	<p>【健康支援課】 県・市川市・企業との協同事業「中食を活用した健康づくり提案事業」として「ふやそう野菜へらそう塩」をテーマにキャンペーンを実施し、市内商業店の野菜売り場や総菜・弁当コーナーで、減塩や野菜を増やすための啓発を行いました。今後も市内商店等での周知を検討してまいります。</p>

<p>生産者代表 染谷代表</p>	<p>給食のない休み中の児童の栄養バランスが崩れるという話を聞いたので、例えば、カレーライスなら+〇〇、スパゲティ+〇〇で足りなかった〇〇が補える、ような具体的な提案があってもいいかなと思います。</p>	<p>【保健体育課】 給食だより等でお知らせできればと思います。</p> <p>【健康支援課】 夏休みにおやこ料理教室や学童保育クラブで、食生活改善推進員と共にこども向けの具体的なメニューの紹介を含め、バランスのよい食事の啓発活動を行ってまいります。</p>
<p>市川市私立幼稚園協会 山崎代表</p>	<p>農業、漁業の体験をしてみたいという話は保護者から多く聞かれるが、体験＝地方という感覚なのか、市川市内でできるということを知っている方がほとんどいないので、体験会や見学会等を企画し、チラシを様々なところに配布するなどしてPRして行ってほしい。</p> <p>女性の社会進出により、生活習慣が変わり家族そろっての食事、主食・主菜・副菜の揃った食事の減少、塩分量の増加は加速していくことが予想されます。今までのHPや広報誌等は継続し、さらにSNSや動画配信等で広く食育をPRしていくことが大切だと思います。</p>	<p>【地域整備課】 年1回親子漁場見学会を広報いちかわに掲載しております。市内在住の小学生の親子限定。チラシについては、市役所玄関受付等に置いていただいています。</p> <p>【農業振興課】 令和4年度に種まきから収穫まで体験できる「ふれあい農園」を広報いちかわ等でお知らせする予定です。チラシによるPRについては今後検討してまいります。</p> <p>【健康支援課】 市川市公式 You-tube チャンネル、ツイッター、ラインを活用し、食育に関する情報の配信を増やしていくことを、検討しています。</p>
<p>市川市漁業協同組合 澤田代表</p>	<p>健康な食生活の健康寿命の延伸について。市川市漁協の組合員も高齢化が進み、男の平均健康寿命72歳を越す方が、大半を占めるようになりました。夏冬気温の激しい変化の中、外仕事です。健康で仕事のできる身体を維持できるよう、バランスの取れた食生活。労働ではない適度な運動。早寝早起き丁度よい睡眠を推進する。</p> <p>食育の実践者の環（わ）を広げよう、については最近では家族と一緒に食卓を囲むことが少なくなったように思います。家族が朝、晩でも食卓を囲めばバランスの取れた食事も可能と思います。食事を支度する方も家族に合った調理もしてくれるでしょう。</p>	<p>【健康支援課】 ライフスタイルが多様化し、家族そろって食事をとることが難しい家庭も増えてきております。市民の食生活に関するニーズを把握し、現代の生活にあった、食育推進活動を行っていきたいと思います。</p>

<p>市川市PTA 連絡協議会 花崎代表</p>	<p>アンケート等でわかるデータは数字に頼り過ぎる傾向がある様にも少し感じました。 例えば、食事をとらない理由も様々変わってきている気がします。(ファスティング、体調管理、主義の違い(ビーガン)等)情報化社会が故に色々な選択をされている方も増えていませんか。したがって、必ず食べなさいという発想ではなく「最低限、2食の人はこれを」等のアドバイスも必要かと。</p>	<p>【健康支援課】 アンケート結果では、数値だけではなく寄せられたご意見も参考にしてまいります。またライフスタイルが多様化し、食に対するニーズも様々で、個人の食生活スタイルやニーズに寄りそう食生活の提案にも、対応できるよう考えております。</p>
	<p>コロナ禍で減った共食の機会が少しずつ戻り、コミュニケーションをとりながら「食事」の楽しさが戻る事を願っております。子どもと一緒に、家族と一緒に食べることの大切さを伝えていきたいです。</p>	<p>【保健体育課】 学校給食では感染予防のため「黙食」が徹底されています。今後は、献立表等で、共食の大切さをつたえていきます。 【こども施設運営課】 お便り等で保護者に伝えて行きます。 【健康支援課】 コロナ禍で共食の機会が減っていますが、共食の中で培われる食事のマナーや楽しさ等今後も啓発していきます。</p>
<p>市川健康福祉センター 山本代表</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の発生により、「共食」の推進、市民の交流の場を設定すること等が難し状況となっている中の取組お疲れ様です。令和4年度食育の取組について(案)(資料3)については、わかりやすく大事なテーマだと思います。市民の関心がある新型コロナウイルス感染症と結び付けて、テーマ案を「バランスの取れた食事」を「適量のバランスの良い食事」などの文言も加えるとより良いかと思われます。</p>	<p>【健康支援課】 令和4年度の取組の中で、栄養バランスのとれた食事および適量が理解できる内容としていきます。</p>
<p>市川市 食生活改善推進協議会 松丸代表</p>	<p>中間評価概要(資料2)においての数値目標未達3項目については、現代のライフスタイルの変様と核家族化・個食化が進んでいることに加えて「食」の大切さの関心や認識が薄いという実態が表されている。 令和4年度食育の取組について(案)については、「取組内容(案)」が具体的で⑦⑧⑨においては、実践しやすい案になっていると考える。 我々の活動が地域住民の健康づくりや食育の推進の一躍を担っていることを改めて自覚しました。</p>	<p>【健康支援課】 今後も健康的な食生活の推進について地域活動を中心に取り組んでいただけますようよろしくお願いいたします。</p>

市川 商工会議所 中村代表	食育の取組を周知するには人流のある場所が効果的と考えるが、コロナ禍に於いて各種催しが縮小、中止が続いている昨今ではスーパー等の商業施設への展示・配付、商店会への協力呼びかけも効果的だと思う。	【健康支援課】 身近な市内商店・商業施設で、食育に関するポスターやチラシの設置等、ご協力をいただけるよう、活動を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。
和洋女子大学 古畑代表	資料3については了解です。 ただ、令和4年度の節目の取組について、全市民にお願いすることと、特に特定の市民団体のどこに期待するのかなど、市川市の考え方を伝えていただいた方が、わかりやすいと思いますが、いかがでしょうか。	【健康支援課】 令和4年度の取組案については、市民へ周知したいこと、また協力団体へお願いしたいこと等、詳細をご提示できるよう準備を進めてまいります。
NPO 法人日本食育ランド スケープ協会 浮谷代表	県の方針に沿った計画であればよいのではと考えます。 ・数値として下がった項目 例えば、ほぼ毎日3食の割合など原因をどのようにとらえているのか。 原因があり対策も立案していると認識はしています。	【健康支援課】 生活スタイルの多様化に加え、コロナ禍で外出の機会が減り、テレワーク等在宅で過ごす時間が多くなり、食生活のリズムが乱れたという事が考えられます。一方おうち時間が増え、家で調理することが増えたという方もいますので、簡単な調理方法や献立例を紹介しバランスよく食べる提案を行っていきます。
	生涯学習センターでのパネル展示会にはどのくらい人数が来てくれているのか。また、アンケートは実施していますか？	【健康支援課】 中央図書館入口通路での展示で、リーフレットを設置しましたので、各リーフレットの配布数を参考といたします。 「いちかわの海苔づくり」100部 「食育探検」153部 「おいしいレシピ」200部 アンケートは未実施です。
	県とは情報交換会を実施しているようですが、県の他の市、船橋市や松戸市等との交換会は実施しているのか。参考にできる取組事例があるのではないかと考察します。	【健康支援課】 「東葛地区食育推進連絡会議」で船橋市・松戸市・柏市・浦安市等、他4市と情報交換を行っています。船橋市や松戸市の「コロナ禍に於ける Web を活用した取組」や、柏市の「市内協力店と協力して実施した野菜摂取拡大の取組」等を参考とし、本市の食育推進活動に生かしてまいります。

<p>市川市医師会 大野代表</p>	<p>数値目標の達成状況の⑧⑩の項目の設置について</p> <p>⑧：体験する機会・人数をどれだけ設けられているのか、市として統計にあげられる程、大きい値か。</p> <p>⑩：就業スタイル、部活、塾等この設問は、現代の生活を反映しにくいのではないか。</p>	<p>⑧について</p> <p>【地域整備課】 令和2年、3年とイベント等は、コロナの影響でことごとく中止になりましたが、令和元年度に市内小学校で行った、ノリすき体験学習では、生徒1846名・保護者242名に体験していただきました。また、魚のさばき方教室も16名の方に体験していただきました。その他の元年度に行ったイベントについては、他の団体が主催しているイベントに参加させていただいているため、人数については把握しておりません。</p> <p>【農業振興課】 体験農園事業として区画貸しの市民農園を実施。 市内6カ所設置 （北部5カ所、南部1カ所） 総区画数：601区画 （1区画一世帯の利用） 利用期間：2年10カ月（最長） 利用対象者：市内在住者 〈参考〉利用人数579人 （令和4年1月現在）</p> <p>【健康支援課】 農林漁業体験に関する指標や目標値については、第4次計画策定にあたり検討してまいります。</p> <p>⑩について【健康支援課】 就業スタイルや生活スタイルの多様化、コロナ禍で共食の機会が減っている現状もふまえて、第4次計画策定にあたりこの数値目標及び指標については検討してまいります。</p>
	<p>資料3 取り組み内容：「〇〇は高いから買わない（買えない）」という声をきくことがある。経済性に言及した項目があったほうが良いのでは？</p>	<p>【健康支援課】 令和4年度の取組案「バランスのとれた食事」の中で、お手軽レシピの紹介として、旬で安価な地場産物に関する情報の紹介、また食材を無駄なく、食べきる方法もあわせて紹介し、経済性にふれていきたいと思っています。</p>

令和3年度 第2回市川市食育推進関係機関連絡会（書面会議）議事録

委員名	意見・質問
2. 令和3年度 貴機関で行っている食育に関する活動についてご紹介ください。	
市川市消費者モニター友の会 相原代表	コロナのため、本年度も講習会等開催できていません。
千葉伝統郷土料理研究会 菅谷代表	市川よみうり「おいしく食べよう」コラムとレシピ紹介。 今年度テーマ「給食まごわやさしいよで元気いっぱい」
市川市私立幼稚園協会 山崎代表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲や夏野菜（ナス、ピーマン、ミニトマト、オクラ、インゲン）などを園児が植え、スケッチ等をしながら成長の様子を観察した。（※コロナ禍であるため、収穫した後に調理は行っていません。しかし、ナスは塩もみで、インゲンはゆでておかか醤油で食べました。）自分たちで収穫したものを採れたて、調理したてで、お友達と一緒に食べることで、野菜嫌いを克服できた子が多くいました。 ・ 園内にあるミカンやゆず、スダチや柿、ピワやサクランボなどを収穫し、そのまま食べた。市販のものよりも形や皮の厚み、触感が異なっていたり、味の濃さや甘みの違いに気づき、とても興味を持ってきていた。 ・ その他、箸使いの指導や、パネルシアターやエプロンシアターを使っでの食育指導、モンシロチョウを呼ぶために、キャベツやブロッコリーを植えたりなどの活動を行っています。
市川市漁業協同組合 澤田代表	<p>市川市漁業の組合員も高齢化が進み、男の健康寿命を越している方も多数います。</p> <p>今後食生活のアンケート 労働ではない運動のアンケート 生活習慣病についてのアンケート などを実施したいと思います。回答により保健センター健康支援課のアドバイスを受けたいと思います。</p>
市川市PTA 連絡協議会 花崎代表	市P連としては、特別食育に関して取り組んでいる活動はありません。単位PTAでも、あまり耳にしません。「こども食堂」等の案内を出している程度の学校はあるかと思います。基本的に「食育」は各学校に任せる or 学校運営協議会が行っているようです。
市川市食生活改善推進協議会 松丸代表	<p>令和3年度活動報告</p> <p>6月 おとなの食育講習会（家族みんなの健康ごはん）実施 2か所8回</p> <p>7月 放課後保育クラブ 3か所</p> <p>9月 おとなの食育講習会（おせち料理）動画とレシピ作成 12月広報告知</p> <p>10月 オンライン市民まつり（推進員の活動報告他）</p> <p>10月 食育展示メディアパーク1階 おいしいレシピ配布</p> <p>11月 ふやそう野菜へらそう塩キャンペーン ダイエーニッポンプラザ 食品売り場 おいしいレシピ配布</p> <p>12月 農水産まつり JA いちかわ行徳支店おいしいレシピ配布</p> <p>2月 研修会（外部講師）予定</p> <p>コロナ禍で活動が中止になった内容もありましたが、市民の皆様にご情報提供できたことをうれしく思っております。</p>

<p>市川商工会議所 中村代表</p>	<p>当所で行っている地産地消事業の「市川の梨食べ歩きマップ」や「市川のトマト絶品メニュー」は規格外の梨・トマトを使用し、地産地消のみならずフードロス考えた事業となっている。</p> <p>規格外の農産物を安価で仕入れられる事業者、廃棄していた農産物を販売できる生産者と加工品を味わう消費者の関係が築かれる。</p> <p>当所では、このような地元生産の食文化を感じながら食育につなげる活動を今後も継続する。</p>
<p>市川市歯科医師会 河内代表</p>	<p>2年度は中止となりました、ヘルシースクールすこやか検診並びに味覚検査事業を市内5校475名に実施致しました。</p>
<p>市川市農業協同組合 長須代表</p>	<p>地場野菜のJA施設での販売を行い、地産地消の推進を図っています。</p>
<p>和洋女子大学 古畑代表</p>	<p>ご依頼の活動についても、これまでと同様に、コロナ環境の中で最善な対応と活動に心掛けていきます。引き続きよろしくお願いいたします。</p>
<p>NPO 法人日本食育ランドスケープ協会 浮谷代表</p>	<p>小学校等が主な活動場所で講話を通じて食の大切さを伝えている。野菜ソムリエの資格を有するメンバーが対応していることで野菜や果物に関する内容が中心となっている。また、手軽な料理を紹介することもある。</p> <p>ただ令和3年度はコロナ要因でほとんど活動できませんでした。</p>
<p>市川保健福祉センター 山本代表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・例年行っている給食施設の巡回指導については、令和2年度は実施できない状況でしたが、令和3年度は新規開設の保育園等の巡回指導を実施しました。 ・地域・職域連携推進事業については、令和3年度は生活習慣病対策の働く世代への啓発媒体の作成に向けて協議中です。 ・前回の会議で実施の予定をお伝えしていた国民健康・栄養調査は、令和2年度に引き続き令和3年度も新型コロナウイルスの発生により延期となりました。

令和3年度 第2回市川市食育推進関係機関連絡会（書面会議）議事録

委員名	意見・質問	回答
3. その他、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。		
市川市消費者モニター友の会 相原代表	資料1「推進事業報告」の中の保健体育課「本となかよし給食」ですが、親子でそれらの本を借りて来た方がいたそうです。普段はお母さん一人に来るのですが、「今日は子供と一緒に来ました。」とお母さん。小学4年のお子さんが「今までのとこれから予定の本を予習しようと思います。」と言っていたそうです。とてもうれしそうだったと聞きました。	【保健体育課】 「活字離れ」と言われている中で、少しでも本に興味を持っていただきたいという意図で学校司書・学校図書館員・栄養教諭・学校栄養職員とで連携して行っている取組に続ける意味を感じました。
	漁業体験について。広報などで募集を見ますが、参加可能人数の少なさで、きっと当たらないなあ、とかつて諦めたことが多かったです。実際の漁業に触れられなくてもデジタルの環境で可能になることも今はできるのではないかと期待します。	【地域整備課】 講師の人数及び会場のスペースにより人数を決めております。船の定員数も有りますので、それぞれの可能人数で行っております。今後は、デジタル環境で可能なことを考えていきます。
千葉伝統郷土料理研究会 菅谷代表	コロナが収束したら、人とのつながりを深めるような活動をしていきたいです。	【健康支援課】 コロナ禍により調理実習や接触型の体験が行えない状況ですので、WebやSNSを活用した啓発を積極的に行っていきます。また体験等交流をまじえた活動については、感染状況に応じ、対策を行いながら、実施可能な方法を検討してまいります。
生産者代表 染谷代表	「バランスのとれた食事」は、なかなか身につかないようです。継続して、手を替え品を替え、しつこく発信していくことになるでしょうね。	【健康支援課】 毎月19日の「食育の日」や6月の「食育月間」等を中心に展示やリーフレットの配付を行うとともに、市公式Web、公式チャンネルYou-Tube、ツイッターへの掲載を考えていきます。
市川市私立幼稚園協会 山崎代表	市内に昔から住んでいる方でも、地元の郷土料理、名産を知らない方が多い。伝統は残しつつ、市川市の名産を使い、現代の食生活に合った新しい形の料理を作ってPRできないか？	【地域整備課】 スズキやホンピノスを使用した料理を市公式Web等に掲載していきます。 【農業振興課】 地域ブランド「市川のなし」や「市川とまと」など、これまでのPR手段とあわせ、SNSなど新たな情報媒体を利用したPRを検討してまいります。 また新しい形の料理については食育関係課と協議し検討してまいります。

<p>市川市私立幼稚園協会 山崎代表</p>	<p>・学校給食などに出ていた「ぐりとぐら」のパンケーキのように、子どもたちにも認知度があり、どんな味だろう？と皆が想像したものが実際に出てくると、子どもたちは嬉しいですし、食に興味を持つきっかけになると感じました。</p> <p>・水耕栽培や光を使った栽培など、子どもたちの知らない農業方法の紹介や、乗り物、機械好きの子どもたちのために、農業、水産の機械や役割紹介などをしてみてはどうか。</p>	<p>【保健育課】 食に関心を持つきっかけになるようにと各校で工夫している一つです。</p> <p>【地域整備課】 地域整備課のホームページに記載しています。(市川のノリづくり)</p> <p>【農業振興課】 提案された内容については、食育関係課や関係機関と協議して検討していきます。</p> <p>【こども施設運営課】 菜園活動で野菜を栽培しており、それに関連した農業器具の紹介や栽培方法の紹介をすると栽培への興味が深まると思いますので考慮していきます。</p>
<p>市川市漁業協同組合 澤田代表</p>	<p>食で健康をつくる、食を楽しむ、食を大事にする。などをわかりやすく書いたパンフレットなどがあれば組合事務所窓口に置きたいと思います。</p>	<p>【健康支援課】 「食を楽しむ」ことや、「食物・食べることを大切にすること」ということは、食で健康をつくることにつながっていくと思います。ご提案のパンフレットについては、作成あるいは既存の資料を含め配布できるよう検討いたします。</p>
<p>市川市PTA連絡協議会 花崎代表</p>	<p>こどもも大人もスマホアプリ「ライン」をやっている人が多いと思います。まずは、興味を引くという意味でラインのアカウント取得やオリジナルスタンプ制作等いかがでしょうか。内容はよく考えられたものであると思いますが、周知が弱い気がします。役所・公共施設・学校に出向かない市民も多いと思いましたので。</p>	<p>【健康支援課】 市公式ラインアカウントや市公式You-tubeチャンネル、ツイッター等を利用した周知・啓発を積極的におこなってまいります。</p>
<p>市川市食生活改善推進協議会 松丸代表</p>	<p>我々の活動は草の根活動に近いものがありますが、地域に根差した活動をこれからも推進していこうと思っております。第3次 第4次の市川市食育推進計画に沿った活動を具体的に実践できるよう努めてまいります。</p>	<p>【健康支援課】 コロナ禍によりイベントや教室での啓発が行えなくなっていますが、地域の人々の身近な食のアドバイザーとして、今後も活動をよろしく願います。</p>

<p>和洋女子大学 古畑代表</p>	<p>一方、第4次の国の状況、千葉県状況の情報提供がございしますが、市川市の考え方についても、早めに委員の皆様へ情報提供され、多くの市民の声を生かした取り組みを期待しております。よろしくお願いいたします。</p>	<p>【健康支援課】 本市の3次計画の進捗、食育の課題を整理し、4次計画の策定に向け準備を進めてまいります。また予定しております市民アンケートの結果や関連するデータを整理し4次計画における市川市の考え方についてお示し、代表者の皆様からのご意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>市川市医師会 大野代表</p>	<p>食材の生産者、食べる人（食べ方とか）については言及されていますが、「食事を作る人」に対する項目がほぼない様に思われます。食材を調理する人がいて、初めて「食事」になります。作り手に対する啓発なくして食育は上手く成立しないと思います。「料理を作る側」を取り上げられないのでしょうか？作り手へのアプローチを望みます。 例えば、「学校給食は、こうして作られる！」とか、「食事の準備の仕方（献立決定、買い出し、調理、盛り付け、片付け）」・・・といった内容です。</p>	<p>【健康支援課】 保育園では、給食ができるまでを園のお便りで紹介しています。また、令和3年度取り組みとして、生産者と学校のご協力のもと、市川の畑で採れた長ねぎを給食に使い、給食室での調理の様子から、子どもたちの配膳、食べる様子を紹介する動画を作成しています。 今後、作り手の方々の情報も、広く市民へ紹介していけるよう検討していきます。</p>